

平成27年度 第3回奈良県学校保健会研修会

1 目的

近年、我が国の青少年の抱える健康課題が多様化、深刻化する中で、未成年者による喫煙や飲酒ならびに薬物乱用も課題の一つであり、とりわけ薬物乱用においては、危険ドラッグの登場や、他の薬物乱用者が減少傾向にある一方で、向精神薬の乱用が増加傾向であることから学校等における指導・教育のさらなる充実強化が求められている。日本学校保健会では文部科学省の補助を受け、平成20年から平成21年にかけての学習指導要領改訂に基づき『喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料』を改訂、全国の学校へ配付した。平成25年8月7日に文部科学省 薬物乱用対策推進会議において「第四次薬物乱用防止五か年戦略」が決定したことを踏まえ、『喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料』を有効に活用できるよう本研修会を実施する。

2 主催・共催

公益財団法人日本学校保健会・奈良県学校保健会・奈良県教育委員会

3 日時

平成28年2月5日（金）開場13時 開演13時20分 終了16時45分

4 会場

橿原文化会館 小ホール（奈良県橿原市北八木町3-65-5）

5 参加対象者

教職員、市町村教育委員会関係者、学校保健関係者、県内学校（園）の学校医、学校歯科医、学校薬剤師及びPTA関係者

7 内容

（1）趣旨説明

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 担当官

（2）これからの喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の考え方

東京薬科大学薬学部 教授 北垣邦彦（前文部科学省学校健康教育課健康教育調査官）

（3）喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料作成のねらい

兵庫教育大学大学院 教授 鬼頭 英明

（4）我が国における青少年による薬物乱用の課題

埼玉県立精神医療センター 依存症治療研究部 部長 和田清

（5）今求められる喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育～指導参考資料を基盤にして～

公益財団法人 日本学校保健会 事務局長 並木 茂夫 演 題 学校における運動器の検診について